

ほたる沢水路保全事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 岡谷市橋原区を流れる沖の沢は山中の湧き水を水源とする天竜川の支流であり、地元では「ほたる沢」と呼ばれ、沢周辺の水田地域は昔から多くのゲンジボタルが生息していたが、コンクリートによる水路整備によりホタルが絶滅寸前の状況であった。平成 12 年に区民を始め各団体の協力により間伐材を利用した木製水路を約 200m 整備し、育成会の協力によりホタルの保護活動を開始した。
- 水路の老朽化による破損や漏水が激しくなり、また、平成 18 年 7 月の豪雨災害の影響によりゲンジボタルが減少したことから、区民協働で水路の改修やホタルの保護活動を実施し、再び多くのゲンジボタルが飛び交い、地域住民が憩える自然環境づくりを行う。

事業内容

- 木製水路、管理用道路（散策路）の整備
 - ・水路 81m 復旧。カラマツの間伐材を使用
 - ・管理用道路 52m 整備
- 鳥獣被害対策として防護柵を設置（210m）
- 地元小学生によるホタルの育成活動の実施
小学生らによるホタルの餌となるカワニナの餌まきを実施

事業効果

- 計画的に水路整備が実施され、また、草刈等を行ったことで、ほたる沢周辺の自然環境の保全が図られ、多くのホタルの発生が見られた。
- 区民協働で作業が実施され、また、整備された水路周辺で「ほたる祭り」が開催されるなど、ホタルを通じた地域活動、住民交流の場の創出ができた。
- カワニナの餌まきには、60 人の小学生の参加があり、自然環境を学習する場としても「ほたる沢」が活用できた。



【間伐材を利用した水路整備】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 自然に優しい水路を目指し、間伐材を利用して水路を整備した。
- 今後の取り組み
 - ・木製水路の整備（平成 22 年度までに 218m）
 - ・水路管理道路（散策路）の整備（平成 22 年度まで 200m）
 - ・区民による草刈を定期的実施し、水路の維持管理を継続して実施していく
 - ・小学生によるカワニナの餌まきなど、ホタルの保護活動を継続して実施していく
 - ・ほたる祭りを継続して開催し、地域の活性化を図る

【選定のポイント】

地域住民が主体となり、計画的に水路整備が進められてきている。整備によりホタルの発生数が増えるなどの効果が出ており、地域の名所、住民が憩い・集う場所として今後も活用が期待できる。

団体名 岡谷市橋原区	事業タイプ ソフト・ハード事業
連絡先 事務局 高林 一彦 電話 0266-24-4513	事業費 325,498 円
	支援金額 216,000 円